

初等科

企画課管理用 教 — C — 1

推進主体	国際交流部
責任者	国際交流部主任

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教 — C	国際交流プログラムの構築	令和 4 年度	令和 6 年度	あり(予定)

① 目的・内容

学習院のミッション「ひろい視野」を育むためには、国際的な視野を広げていくことが肝要である。また、ミッション「ゆたかな感受性」を育むにあたり、異文化に触れることは、とても大切である。

そこで、初等科では、平成30年から英国・豪州との国際交流を実現するべく計画を立ててきた。新型コロナウイルス感染症の影響で、実施計画に遅れは出たが、英国との文通交流、オンライン・ホームステイ、豪州とのオンライン交流や俳句やビデオレターの交換などの文化交流を行い、学校間の関係を深めてきた。今後は、直接的な交流の綿密な計画を立て、有意義な国際交流を目指したい。特に、初等科児童が国外へ赴く英国研修、豪州研修では、研修の立ち上げと継続的な運営を目指して、海外交流校と頻繁に連絡を取り合いながら、初等科児童の安全で学習効果の高いプログラムを構築する。

また、海外の学校の教職員や家庭に学習院を理解していただくために、英語版の初等科ホーム・ページを追加する。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

英国との交流、豪州との交流について、教員が行き来をしながらより綿密な計画を立て、児童の国際交流を実施する。小学生には細かな配慮が必要なので、安全・安心のため下見や引率の十分な人数を確保する。

児童の英語力を高めつつ、個人対個人の交流も含めた、効果的な交流のプログラムを作成する。

また、相手校の家庭や児童に理解を深めていただくために、初等科の英語版ホーム・ページを作成する。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	豪州との交流計画作成・		英国・豪州との綿密な交		交流計画の見直し		
	英語版ホーム・ページ作			英国・豪州への児童海外研修の実施			
	国際交流の実施						

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	計画の実施と渡航	計画と渡航の達成度					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	令和5年度または令和6年度の児童海外研修に向けて、豪州の学校の教員と直接交渉し、教育プログラムを構築するため、5名の教員の豪州渡航を行う。 また、英国及び豪州への児童海外研修及びオンラインホームステイは、海外の各家庭にホストファミリーを募集するものである。実際の募集では、応募する家庭がなかなか集まらなかった。各家庭は、日本のどのような学校の児童が来るのかを知りたい。しかし、初等科のホーム・ページには英語版がないため、法人のホーム・ページで紹介されている初等科の説明しか読むことができない。そこで、その一助として、初等科ホーム・ページに英語記載の部分を設置する。	8月下旬に科長、教頭、国際交流主管、国際交流部員の4名で豪州メルボルンの交流校2校を視察した。女子校であるMLCでは、初等科生のホームステイと授業参加を受け入れてもらう約束をし、12月に姉妹校締結をした。また、男子校ザビエル校では、新校長や交流窓口となる新たな担当者となりができ、初等科生の授業受け入れについて前向きな返事を受理した。さらに、手紙の交換やオンラインでの交流も実現した。 英語版ホームページ作成事業では、まずは文章を英語にすることが必要であることから、学習院の品格を表現するためにプレミアム翻訳ができる業者を採択し、翻訳を発注した。
令和5年度 (2023年度)	令和5年度は、3校ある海外交流校から教員を招き、初等科を深く理解願ひ、初等科生の海外研修がより良いプログラムになるように努める。また、これをきっかけとして、海外交流校からも児童が初等科へ研修に来てもらえるように働きかけ、国際交流の効果が初等科全体へ行き渡るように努める。 また、英語版ホームページ作成事業では、英語版原稿の推敲を行い、原稿が整い次第Web制作のデザインを検討する。	海外交流校3校の教員を初等科へ招待する事業では、6月に豪州メルボルンの男子校Xavier Collegeの院長とBurke Hall Campus小学部校長が、7月に豪州メルボルンの女子校Methodist Ladies' Collegeの日本語クラス・日本との交流担当者が、11月には英国Cheltenham College小学部副校長がそれぞれ来科し、初等科や他キャンパスを見学し、学習院への理解を深め、さらなる交流を促進することで合意した。 また、英語版ホームページ作成事業では、英文原稿を实情に合わせて推敲し、さらにWeb制作会社との打ち合わせを重ね、今年度内に実装する。
令和6年度 (2024年度)	令和6年度は、第2回英国研修とともに第1回豪州研修を実施する予定である。令和3年度の豪州視察時から交流を深めてきたメルボルンの伝統校を訪問するが、伝統校は総じて共学ではないことが多いため、男子はXavier College Burke Hall Campus、女子はMethodist Ladies' Collegeと分かれて研修を行う。その際、児童の安全確保と十分なサポートを行うためには、1校につき2名の引率教員を配置する必要がある。 また、豪州研修以外にも、英国研修、国際交流関連の視察や引率、英国Cheltenham Prep等からのなどの来科対応や各種準備、海外に対応したソフトや物品などの購入を進めるなど、国際交流プログラムの構築を行う。	第1回豪州研修は、今まで築いた豪州交流校2校との信頼関係の上に、児童・教員の双方にとって大きな成果を残すことができた。1校に2名の引率教員を配置したことによって、ホームステイなどでの児童の困りごとに、現地担当教員と初等科教員が協力して解決することができ、手厚く児童の活動を支援することができた。また、現地教員と児童による歓迎は、児童同士の活発な交流のみならず、初等科教員と現地教員の積極的な交流を促進し、さらに豪州交流校2校と初等科の信頼関係を深めた。

⑥ 計画の成果・今後の方針 <b>※計画を中止する場合はその理由を記載のこと。</b>	
【計画の成果】	今日、世間ではグローバル化のニーズは高まっている。この中期計画推進予算を活かして、7点の成果を出すことが出来た。
	1.英国のチェルトナム・カレッジへの海外研修 2.英国のチェルトナム・カレッジの招聘 3.豪州メソジスト・レディーズ・カレッジ(MLC)への海外研修 4.豪州ザビエル校への海外研修 5.豪州メソジスト・レディーズ・カレッジ(MLC)の招聘 6.豪州ザビエル校の招聘 7.英語版ホームページの作成・更新 特に、1～6は安全で適切に運営することが出来、初等科児童・初等科保証人・現地校児童から高い評判を得ることが出来た。
【今後の方針】	中期計画推進予算での国際交流プログラムの構築に関する事業は令和6年度で終了となる。これまで実施された事業は、英国・豪州両国への研修や交流を継続的に行うために欠かせない基礎を構築した。今後は、これまでの事業で築いた海外交流校との関係をより深め、海外研修を安定的に実施し、初等科での国際交流と異文化体験の機会を創出する。(継続して事業は行いが、別予算から支出予定。)
<b>※計画完了時点で記載してください。 ○・・・必須事項 △・・・必要に応じて記載</b> ○②到達目標に対する結果 ○計画の中止理由(※中止する場合) △今後の見通し・課題(通常事業化など) △その他	